guillaume french

「なんか惜しい」をつくる
7つの着こなしミス



はじめまして、
ギヨームです。

日本に住むフランス人です。

日本に来たばかりの頃、私は服に数十万円を使いました。でも、質が良くない、体に合わない。そして「お似合いですよ」と言う店員さんは、私のことを何も知りません。

買っては着ない服が増えていきました。そこで、自分で服の選び方を学びました。

その中から、まず7つのポイントを
このPDFにまとめました。

01. 腰の位置が低すぎる

腰の位置が低いと、胴が長く、脚が短く見えやすくなります。

気になる着こなし



低いウエスト位置

こう変えてみる



高めのウエスト位置

少し高い位置ではけるパンツに。
ウエストを見せてみましょう。

ローライズのパンツを無理に引き上げる必要はありません。

02. パンツの裾が長すぎる

裾に生地がたまると、足元が重く見えます。

気になる着こなし



裾に生地がたまる

こう変えてみる



裾がすっきり

裾を内側に折って、
同じ靴で見比べてみましょう。

少したるむのはOK。パンツの幅と靴に合わせて調整を。

03. トップスが長すぎる

長いトップスは腰の位置を隠し、脚を短く見せることがあります。

気になる着こなし



太ももまで隠れる丈

こう変えてみる



短めの丈

短めのトップスに変えるか、裾をイン。
パンツはそのままで比べましょう。

長めの丈も、そのバランスを狙うならOKです。

04. 服がきつすぎる

胸や腕の生地が引っ張られると、窮屈に見えます。

気になる着こなし



胸まわりがきつい

こう変えてみる



胸まわりにゆとり

きつい部分に、少しゆとりのある
形を選んでみましょう。

座る・腕を伸ばす。見た目だけでなく、動きやすさも確認。

05. 上下のボリュームが合わない

大きめのトップスに細すぎるパンツだと、上半身が重く見えがちです。

気になる着こなし



ゆったり × 極細

こう変えてみる



ゆったり × ストレート

トップスはそのまま。
ストレートパンツと比べてみましょう。

大きめの服が悪いわけではありません。全身のバランスで判断。

06. 靴の色で脚のラインが切れる

パンツと靴の色が大きく違うと、足元に目が止まります。

気になる着こなし



色の差が大きい

こう変えてみる



近い色でつなぐ

脚のラインをつなげたいなら、
パンツに近い色の靴を試しましょう。

靴を目立たせたいときは、色の差をつけてもOKです。

07. きれいめ・カジュアルがちぐはぐ

きれいめな服にスポーティーな靴だと、雰囲気が合わないことがあります。

気になる着こなし



スポーティーな靴

こう変えてみる



きれいめな靴

上品に見せたい食事の場なら、
シンプルな革靴を試しましょう。

スニーカーもOK。大切なのは、見せたい雰囲気に合うかどうか。

服選びが上手になると、
時間もお金も節約できて、
堂々と見えます。

自分を知ること。自分の生活に合わせて選ぶこと。私はそれをお手伝いできます。

- 買い直しが減る（お金）
- 毎朝の迷いが減る（時間）
- 仕事、恋愛、人との出会いで、いい印象を残せる

まずは次のページで、
自分の服をチェックしてみましょう。

まずは、1つだけ。

自分の服装で気になる点にチェック。

- ☐ 腰の位置が低すぎる
- ☐ パンツの裾に生地がたまる
- ☐ トップスが長く、脚が短く見える
- ☐ 服がきつく、動きにくい
- ☐ 上下のボリュームが合わない
- ☐ 靴の色で脚のラインが切れる
- ☐ きれいめ・カジュアルがちぐはぐ

1つ変えて、もう一度写真を。

ポーズ・カメラの高さ・距離は同じに。

どこから直すか迷ったら、DMで「CHECK」。